

見たよ！ かわったよ！
ナウマン象が帰って来たよ！

忠類ナウマン象化石骨の発見から50年・・・
記念事業では、子どもたちが化石に触れる、発掘体験をするなど工夫を凝らした取り組みが行われています。
広報まぐべつ1月号では、参加した子どもたちの「驚き」と「感動」の声をご紹介いたします。



キバの大きさに驚き

私たちは、ナウマン象記念館に行って、北広島市から届けられたマンモス象の模型の組み立てを手伝わせていただきました。私はキバをつけるのを手伝ってもらいました。キバの大きさが予想以上に大きくて驚きました。その後、私たちはナウマン象の化石に触らせてもらいました。重たかったけれど、この化石は少し軽くなっていると聞いて驚きました。貴重な体験ができて良かったです。
(忠類小学校6年 島 愛華さん)

12万年前の土の感触

10月30日に化石発掘体験をしました。そこには重機があり、ナウマン象の足跡みたいなものがありました。そして、発掘しに行きました。土を触るとねちょねちょしていて、12万年前の土はすごいと思いました。そしたら友だちが植物の化石を沢山見つけていました。私は、すごいと思いました。結局一つも見つけられなかったけど、化石を見つけるためには続ける力が大切だと思いました。
(忠類小学校6年 渡部 静華さん)

化石が戻ってきてうれしい

私たちは、ナウマン象記念館に行き、マンモス象のレプリカの組み立てをやらせていただきました。マンモス象の頭を体にくっつけたり、鼻やキバをくっつけたりしました。とても楽しかったです。キバの色、形にも工夫があって、私も作ってみたいと思いました。他にもナウマン象の本物の骨を見せていただきました。とっても重くてびっくりしました。
(忠類小学校6年 森 汐菜さん)

化石発掘ができてうれしかった

化石発掘は最初、簡単だと思いました。しかし、化石を掘っている穴を見ていると、鉄の棒をさして慎重にやっているんだなと感じました。そして、化石発掘をしていたら小さい化石を見つけるのはすごく難しいと感じました。友だちがたくさん化石を見つけてすごいと思いました。しかし、僕は化石が見つからずバスに乗ることになったので悔しかったです。忠類に住んでいなかったら化石発掘はできなかったの、うれしかったです。
(忠類小学校6年 山森 悠太さん)

忠類ナウマン象化石骨発見50周年記念事業
の子どもたちの声は来月号でも紹介します。



幕別町長
飯田 晴義

町民の皆様、あけましておめでとう
ございます。

希望に満ちた新春を皆様とともに
迎えられますことを心からお慶び申
し上げます。

昨年を振り返りますと、4月には、
関係各位にご尽力を賜り準備を進め
てきました北海道幕別清陵高等学校
が開校し、「考える」「拓く」「愛する」と
いう3つの校訓のもと、真新しい制服
に身を包んだ102名の第1期生が新た
な歴史を歩み始めました。

忠類晩成の工事現場で作業員がナ
ウマン象化石骨を発見してから50年
の節目を迎え、当時発掘に携わられた
北海道教育大学名誉教授木村方一氏
による講演会をはじめ各種記念事業
を開催し、改めて忠類ナウマン象の学
術的価値と古代へのロマンを再認識
したところであります。

基幹産業の農業においては、6月
下旬の日照不足や7月上旬の降水量
不足、8月の高温など、作物の育成に
とって大変厳しい気候でありました
が、町内の農協取扱高としては農畜産
物の総額が26億円を超える見込みと

なり、過去最高となりましたことは、
ひとえに生産者の皆様の日々のご努
力と、農業関係団体の指導の賜物であ
ると心から敬意を表します。

今年は、2020年東京オリンピック
ク・パラリンピックが開催されます。

本町の応援大使を務めていただい
ている福島千里さん、山本幸平さん、
桑井亜乃さんの出場を心から祈念し、
全ての選手の熱戦と全力を尽くす姿
に期待いたします。現在町で展開して
いる「アスリートと創るオリンピック
の町創生事業」を通じて、子供たちの
競技力や指導者の指導力の向上、ひい
ては町民の健康増進、地域の活性化の
一層の推進を図るべく、更にスポー
ツを通じてまちづくりを進めてまいり
ます。

一方、近年、自然災害による被害が
各地で相次いでおり、本町においても
これまでの災害時における情報提供
の方法に課題があったことから、的確
かつ迅速に情報伝達を図るための防
災無線の整備を進めてまいります。

最近の地方行財政を取り巻く状況
は大変厳しく、加速する少子高齢化や
人口減少など多くの課題があります
が、町民の皆様との対話を大切に、あ
らゆる施策を総動員し、まちづくりを
進めてまいりたいと考えております。
今年一年、皆様のご健勝で幸多い年
でありますようご祈念申し上げ、新年
のごあいさついたします。

令和2年 年頭のごあいさつ



幕別町議会議長
寺林 俊幸

謹んで新年のごあいさつを申し
上げます。

輝かしい新春を町民の皆様とと
もにお迎えできることを心よりお
喜び申し上げます

また、日頃より、町政をはじめ議
会に対しまして、温かいご理解とご
協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、本町の基幹産業でありま
す農業におきましては、6月下旬の
日照不足や7月上旬の雨不足、さら
には8月の高温など、作物の生育に
とって厳しい気候でありましたが、
生産者の皆様をはじめ各関係機関
のご努力により、農作物全体の収量
及び品質が、総じて平年並みとなる
見込みでと予測されておりますこ
とに感謝と敬意を表する次第であ
ります。

また、10月中旬に日本に上陸した
台風19号が、関東、甲信越及び東北
地方などで記録的な大雨となり甚
大な被害を与えました。毎年、全国
各地で災害が発生し、本町において
も平成28年の大雨災害は記憶に新

しいものであり、町では災害時にお
ける正確で迅速な情報伝達手段と
して、防災行政無線の整備に着手い
たしました。災害に備えた対策は、
町民の皆様との生命と財産を守るう
えで大きな課題として町と議論を
重ねてまいります。

昭和44年に発見された忠類ナウ
マン象化石骨50周年記念事業は、特
別展、講演会の開催など、化石骨の
発見と価値を後世に伝えるもので
ありました。また、発掘調査でのナ
ウマン象の足跡と思われる痕跡の
確認は、新たな歴史的発見への期待
と夢を与えてくれるものでありま
した。

議会においては、4月の議会議員
選挙より議員定数を1人減員し19
人での新体制となりました。議員一
人ひとりが議会の使命と責任を認
識し、全議員がひとつのチームと
なっており、議会基本条例に基づきわ
りやすく開かれた議会を目指し、町
民福祉の向上につながる議会運営
につとめてまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力
を賜りますようお願い申し上げます
とともに、新しい年が皆様にとり
まして素晴らしい年でありますよ
う心からご祈念申し上げ、年頭のご
あいさついたします。